

補助物品の例

区 分	品 名
情報収集・伝達用	拡声器、携帯無線機・受令機、携帯用ラジオ、携帯電話機用充電器、ポータブル電源、腕章 等
初期消火用	消火器、水バケツ、砂袋、街頭用消火器、可搬式小型動力ポンプ、防火衣・ヘルメット、とび口、手袋 等
水防用	救命ボート、救命胴衣、雨衣、防雨シート、シャベル（スコップ）、つるはし、ロープ、かけや、くい、土のう袋 等
救出用	バール、はしご、のこぎり、シャベル（スコップ）、なた、ジャッキ、ペンチ、ハンマー、ロープ、チェーンソー、エンジンカッター、斧、一輪車、車いす、鉄パイプ、角材、等
救護用	担架、救急セット、AED、テント、毛布、敷きマット、組立式シャワー、簡易トイレ、消毒液 等
避難用	強カライト、ヘッドライト、ランタン、標旗、ロープ、ハンドマイク、警笛、標識版、警報器具、投光器、発電機、暖房器具、扇風機、燃料携行缶 等
給食・給水用	こんろ、カセットガス、給水タンク、ろ水機、炊飯装置、配膳用食器、保存水、保存非常食 等
訓練用	模擬消火訓練装置、訓練用消火器、心肺蘇生訓練用人形、視聴覚機器（プロジェクター等） 等
その他	簡易収納庫、リヤカー、ブルーシート 等

自主防災組織等活動支援事業補助金

能登半島地震を受け自主防災組織等活動支援事業補助金を拡充！！

また自主防災組織から指名された方が防災士の資格取得に対する費用も拡充。

●補助を受けられる事業・経費

➤ 組織設立支援事業

設立時の
1回のみ

自主防災組織の設立に要した経費

組織立上げに向けた勉強会、講習会開催に係る費用など

➤ 啓発事業等支援事業

防災力の強化を図るために実施した事業の経費

防災講座、防災訓練、防災マップの作成に係る費用など

➤ 資機材等購入支援事業

防災計画に基づき整備する資機材購入時の経費

備蓄食糧、炊き出し用機材、情報収集・伝達用資機材購

入に係る費用など

➤ 防災士資格取得事業

各組織
1人1回

地域防災力向上を目的として、防災士の資格を取得しようと

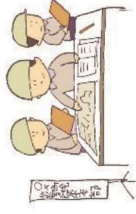
する方を対象に資格取得を助成

特定非営利活動法人日本防災士機構が発行する教本の代金

防災士養成研修受講料、防災士資格取得試験受験料など

●補助率

- ・ 補助対象事業経費の 3分の2
- ・ 上限額（下表のとおり）



事業区分	補助金額(上限額)
・ 組織設立支援 ・ 啓発事業支援 (経費の2/3以内)	100世帯未満 20,000円 100世帯以上200世帯未満 40,000円 200世帯以上300世帯未満 60,000円 300世帯以上400世帯未満 80,000円 400世帯以上500世帯未満 100,000円 500世帯以上 120,000円
・ 資機材等購入 支援 (経費の2/3以内)	300世帯未満 300,000円 300世帯以上400世帯未満 400,000円 400世帯以上500世帯未満 500,000円 500世帯以上 600,000円
防災士資格取得	40,000円 自主防災組織の推薦を受け、防災活動の 中心的役割を担うことが出来る者又は予 定者



「防災士」資格取得



5年に1回



-15-

令和7年2月13日 中野市区長会理事會資料

全市民DXふれあい事業について ～自治会業務のデジタル活用～

総務部企画財政課DX推進係

1 ライフビジョンを活用し、回覧板などをデジタル化

新型コロナウイルス等、感染症の蔓延下においても、各自治会活動を継続し、併せて区役員様をはじめとする区民の皆様の負担軽減を図ることを目的に、自治会業務のデジタル化を支援する「コロナに負けない全市民DXふれあい事業」をスタートさせ、令和5年1月から地域情報配信ツール「ライフビジョン(スマホアプリ)」の試行運用してきました。

試行運用により「区の配布物をデジタル化したことにより、時間にとらわれずに手軽に区の情報入手できた」、「紙の回覧板よりも準備に要する時間や手間が省力できた」など有効性が確認できたことから導入を進めることになりました。

デジタルの活用によるメリット

- … 文書の作成や印刷、各戸へ配布など多くの方の手間と全体に届くまでの日数が省力化できます。
- … アプリによる配信のため、紙資源、印刷代などの経費削減
- … 紙の回覧板は、回したら後々確認することができませんが、アプリならいつでもどこでも確認できます。
- … 災害時や急なイベントの中止連絡などにも即座に連絡することが可能になります。

デジタルの活用イメージ

文字、音声、PDF、写真、Webページのリンクによるお知らせ配信が可能

送信側 区長
受信側 区民

区長は、情報配信したい内容をパソコン又はスマートフォンから登録します。
(日にちを指定した予約配信も可能です。)

区民は、個人で所有しているスマートフォンにライフビジョン(スマホアプリ)をダウンロードし、いつでも、どこでも、区からの情報を受け取ることができます。

配信例 区情報、工事による通行規制のお知らせ、イベントのお知らせ、分館報 など



スマートフォンアプリ
「ライフビジョン」

2

2 ライフビジョンの機能①

お知らせ配信機能

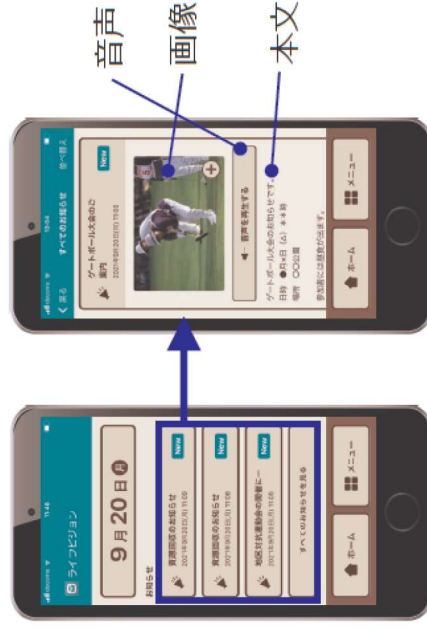
配信管理アプリで入力したお知らせ情報を、受信端末アプリにプッシュ配信します。

新着情報などを自動的に画面にポップアップで通知してくれる機能



職員／区長等

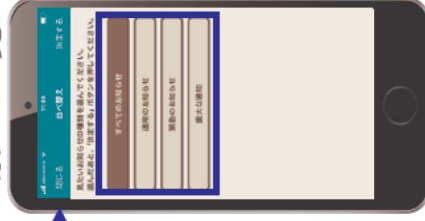
- ・プッシュ通知で着信表示
- ・文字、画像、音声を送信可能
- ・即時/日時予約
地域指定
- ・公開期間は90日間



お知らせ一覧



カテゴリ一覧



カテゴリごとにフィルタ表示可能